



春から認知症デイケアを始めました

当病院では、今年4月から認知症デイケアをスタートさせています。開始から半年が経過しましたが、多くの皆様にご利用をいただき、その効果も十分に出てきていると感じています。なぜ認知症デイケアを始めたのか、また認知症デイケアが果たす役割について紹介します。



医療法人 松和会
門司松ヶ江病院
理事長・院長 山浦 敏宏

認知症デイケアをスタートさせた理由

当病院は北九州市が実施しているものわすれ外来協力医療機関です。ものわすれ外来には認知症の軽い方から重い方まで受診されます。ここで「軽い」とか「重い」とか言っているのは、ものわすれや適切な行動がとれなくなる等の、認知症の主症状（認知症の方なら誰にでもある症状）のことです。

診療の中で考えたのが、認知症が比較的軽いのに周辺症状としての精神症状が強い症例が結構あるということです。物盗られ妄想や夜間に徘徊して眠らない、不機嫌ですぐに怒る等の周辺症状こそ最も周囲を困ら

せる症状なのです。ですからこうした症状が強いと家族は疲れてしまい入院を希望されます。

しかし主症状の軽い認知症の方が重度の方と一緒に入院すると一気に主症状が悪化することも少なくありません。また主症状が軽いため帰宅要求が強く安定した治療環境が保てないことも問題です。そこで、そうした方を家族に負担をかけず治療することができると環境が必要だと考え、認知症デイケアを始めることにしました。

適切な医療の提供とともに

周辺症状の治療は専門的な知識を持つ医師による適切な薬物治療を組

み合わせることが最も効果的です。デイケアやデイサービスは介護保険でもサービスが提供されていますが、薬物は日常生活動作の妨げになるからと減らされたり、逆に医師に多量の薬物を処方してもらい薬による行動制限が行われたりすることもあります。また、主症状が軽いため要介護度が低く、十分にサービスが使えないことも出てきます。

当病院で行っている認知症デイケアは医療保険を使った精神科の医師が関わって行う治療です。これまでに半年間の運用の中でその存在の重要性を再認識しています。この記事を読んでピンと来たら利用してみませんか。



認知症デイケアとは？

認知症と診断を受けられた方に対して日常生活における活動援助や問題行動の改善、生活の援助を行い、さらにご家族の身体的・精神的負担の軽減化を目的としています。専門スタッフによるケアやリハビリテーションに加え、利用者が楽しみながら1日を過ごしていただけるようにさまざまなレクリエーションプログラムを行っています。

当院のデイケアは医療保険対応の「重度認知症患者デイケア」ですので、介護保険サービスとの併用も可能です。利用者にもふさわしいサービスを利用することで、生活の質（QOL）が高まることを期待しています。

一日の流れ

8:30	迎え / 受け入れ
10:00	朝の集い / 健康チェック
10:30	午前の活動
11:45	昼食準備
12:15	昼食
13:00	自由時間 / 休息
13:30	午後の活動 / 入浴
14:30	茶話会 / 帰りの集い / 帰宅準備
15:00	送り

平成18年11月 認知症デイケア予定表

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			ゲートボール	輪投げ	休み	風船バレー
			入浴	入浴		入浴
			折り紙	季節のクラフト		カラオケ
5	6	7	8	9	10	11
休み	新聞ちぎりゲーム	ゲートボール	輪投げ	的当て	カレンダー作り	ボーリング
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
	手工芸	塗り絵	折り紙	季節のクラフト	紅白歌合戦	カラオケ
12	13	14	15	16	17	18
休み	輪投げ	ボーリング	風船バレー	書道	カレンダー作り	ゲートボール
	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
	手工芸	塗り絵	折り紙	季節のクラフト	塗り絵	カラオケ
19	20	21	22	23	24	25
休み	的当て	風船バレー	ボーリング	休み	カレンダー作り	輪投げ
	入浴	入浴	入浴		入浴	入浴
	手工芸	塗り絵	折り紙		塗り絵	カラオケ
26	27	28	29	30		
休み	風船バレー	的当て	ゲートボール	新聞ちぎりゲーム		
	入浴	入浴	入浴	入浴		
	手工芸	塗り絵	折り紙	季節のクラフト		